

質の高いケアへの挑戦

患者様の安楽な療養環境を実現するための、東大泉病院の褥瘡対策



専門医を核とした チームアプローチ

専門医の的確な診断のもと、多職種が連携し、現場の担当者がケアを主導する体制を構築しています。

皮膚科専門医 (週1.5日)



多職種褥瘡対策委員会



各病棟の褥瘡委員



病棟主導で探求する ケアの質向上

常に最善のケアを目指し、スタッフが主体となって新しい知識や技術、効果の高い製品を積極的に導入・評価しています。

✓ 体圧分散寝具

✓ 創傷被覆材

✓ 洗浄・デブリードマン用製品

✓ 【新規】 専門的ポジショニング用具



データと指摘を活かす 継続的な改善体制

データや外部からの指摘を真摯に受け止め、PDCAサイクルを回すことで、継続的に業務を改善する文化が根付いています。

- 指導への迅速な対応：業務点検でのご指摘を受け、褥瘡回診の体制を迅速に改訂。
- 課題への具体的対策：持ち込み褥瘡に対し、栄養状態の重点的観察を徹底。
- 明確な管理体制：ケア用品の管理責任者を各病棟の褥瘡委員に定め、責任の所在を明確化。

今後も、患者様の高齢化や重症化という課題に真摯に向き合い、病院一丸となって褥瘡対策を推進してまいります。